

「環境経営レポート」

2022年度
(自2022年6月～至2023年5月)

2023年 9月20日 発行



株式会社クロス

KUROSU GROUP

環境経営理念

株式会社クロスは、環境問題に積極的に関わり、事業活動の全領域で環境負荷の低減に配慮し行動します。

環境経営方針

1. 環境経営システムを構築運用し、定期的に環境経営システムの見直しを通じて、環境負荷の低減に継続して取り組みます。
2. 環境への取り組みとして、特に次の事項に取り組みます。
 - 二酸化炭素の削減
 - 廃棄物の削減
 - 排水量の削減（節水の意識の高揚）
 - グリーン購入の推進
 - 地域社会への貢献
3. 環境にやさしい副資材及び設備の提案セールスを実行します。
4. 環境関連法令を遵守し環境保全に取り組みます。
5. 環境経営方針、目標を全社員に周知徹底し環境への係わりに対する認識を高めると共に社外にも公表します。

令和 3年 8月25日 改訂
令和 2年 8月20日 改訂
平成22年10月21日 改訂
平成18年 8月31日 制定
株式会社クロス
代表取締役 舘山 克英

1.組織の概要

(1) 事業所名：株式会社クロス

(2) 代表者：舘山 克英

(3) 所在地：

- 株式会社クロス本社：東京都江東区亀戸6-53-9
- 関東支店：埼玉県加須市古川 1-2-2 加須大利根工業団地
- 秋田支店：秋田県秋田市川尻町字大川反233-95
- 八戸支店：青森県八戸市下長6-11-10-105
- 長野支店：長野県千曲市大字鋳物師屋700-1
 - （長岡駐在）：新潟県長岡市高見町445
- 福島支店：福島県郡山市八山田5-75
 - （山形駐在）：山形県山形市若宮2-2-31
- 名古屋支店：愛知県一宮市朝日1-6-17
 - （広島駐在）：広島県府中市須町554-3

(4) 環境管理関係の責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者：（課長代理）
- 担当者：（管理部）
- 連絡先：（電話）03-3684-4110 （FAX）03-3636-6643

(5) 事業内容（鋳物関連）

- 溶解装置と資材の販売
- 造型装置と資材の販売
- ロボット及び鋳仕上装置の販売
- 砂回収再生装置の販売
- 塗型剤の販売
- 耐火材の販売

(6) 事業規模

活動規模	単位	2019年	2020年	2021年	2022年
売上高	百万円	3,827	3,321	3,985	4,288
従業員	人	39	33	34	36
床面積	m ²	2,617	2,617	2,617	2,617

(7) 会社沿革

1926年：黒須商店として創立
1954年：株式会社黒須商店設立
1979年：株式会社クロスに社名変更
2010年：組織変更
2015年：長野支店移転
2016年：関東支店移転
2017年：長野支店移転
2018年：八戸駐在と北上駐在を合併し、八戸支店に組織変更

(8) グループ会社概要

- 株式会社 メタルスファンドリィ
 - 設 立：昭和 39年 7月 1日
 - 売 上：338百万円（2022年 11月）
- 東京シェルサービス 株式会社
 - 設 立：昭和 38年 1月 1日
 - 売 上：1,027百万円（2022年 5月）

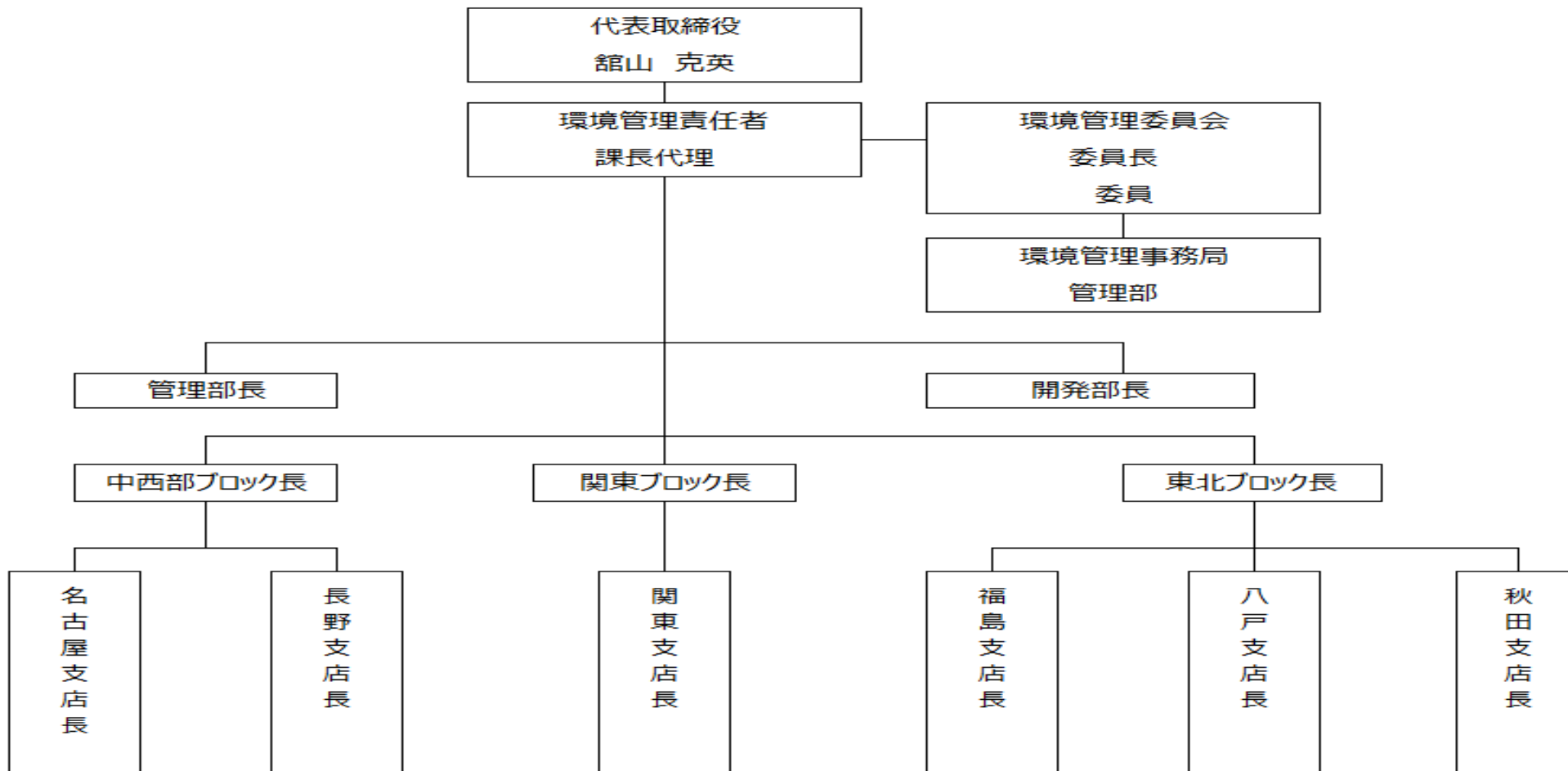
2.対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

- (1) 対象範囲は「1. (3) 所在地」欄に記載。
- (2) レポートの対象期間及び発行日は表紙に記載。

3.実施体制

【環境管理体制図】

変更日：令和5年6月1日



役割・責任・権限

責任者	役割・責任・権限	
社長 (最高責任者)	①当社のエコアクション21の最高責任者 ②環境管理責任者の任命 ③環境方針の制定、環境活動計画の目標・計画の承認 ④環境経営システムの見直し ⑤環境経営マニュアルの承認	⑥環境経営システムの実施および管理に必要な資源（人材・資金・物）投資への審議および許可 ⑦自己評価の指示および年間計画の承認 ⑧最高責任者による評価の実施 ⑨緊急事態発生時の判断
環境管理責任者	①環境経営マニュアルの立案、見直し ②環境活動計画表兼実績管理表の作成と実施 ③環境活動計画表兼実績管理表の進捗確認と修正の指示・実施 ④環境経営システムの実績等の社長への報告 ⑤環境経営システムのための資源、要員の提言 ⑥環境経営システムに関する問題の明確化と記録の総括 ⑦環境問題解決および検証の総括 ⑧環境文書発行・管理の実務	⑨環境関連法律その他の規制の遵守および届出の確認 ⑩環境情報の連絡 ⑪修正と予防処理管理 ⑫教育と訓練の総括 ⑬緊急事態体制の特定、訓練・見直し ⑭環境管理委員会（3ヶ月1回）の開催 ⑮全社で推進する環境活動計画の審議決定 ⑯環境活動計画の進捗状況と問題点の検討
環境管理委員会	①環境経営マニュアル作成、維持および保管 ②環境経営マニュアルの登録・配布・改訂・廃止および撤去 ③環境関連の法律、その他規制の最新情報の収集 ④教育と訓練実施のフォロー	⑤緊急事態発生時の対応 ⑥環境関連の法律、その他規制の届出 ⑦記録の保管
本社及び各拠点の責任者	①環境関連文書の作成および報告 ②所属職員への教育と訓練の実施 ③環境情報の収集と報告	④緊急事態発生時の対応と対策の実施および環境管理責任者への報告 ⑤全社環境活動計画目標の実行 ⑥環境施設の管理

4.環境経営目標

当社の主たる業務は卸売業であり、製造設備等を持たない事業形態の7ヶ所の事務所と倉庫のみである。したがって、当社では以下の項目について環境経営目標を立て、実績を管理している。

(1) 二酸化炭素排出量削減

ガソリン等燃料使用量は、現状維持を目標とする。

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	188,283	180,767	180,767	180,767
ガソリン・軽油	ℓ	ガソリン 40,672	ガソリン 40,672	ガソリン 40,672	ガソリン 40,672
		軽油 17,154	軽油 17,154	軽油 17,154	軽油 17,154
		57,826	57,826	57,826	57,826
電力量	kwh	90,567	90,567	90,567	90,567

※本社の電力供給会社を変更し排出係数が変更となった為、2023年度からの目標値を修正しました。

(2) ガソリン・軽油使用量の削減

2017年度より、社用車・トラック毎に燃費を管理する。

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
燃費(社有車)	km/ℓ	15	15	15	15
燃費(トラック)	km/ℓ	7	7	7	7

(3) 廃棄物及び総排水量削減

コピー用紙使用量について 2017年度を基準値とし各年基準値に対し1%削減する。

項目	単位	2022年度 1%減	2023年度 1%減	2024年度 1%減	2025年度 1%減
コピー用紙	t	0.64	0.63	0.62	0.61
総排水量	m ³	242.00	242.00	242.00	242.00

(4) 環境配慮設備・材料販売

環境配慮材料

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
デルタキャスト チルコート	t	75	75	75	75

環境配慮設備

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
バリンダー	台	5	5	5	5

※環境配慮設備の販売は2009年度の環境方針より実施

(5) その他の取組み

会社周辺の清掃 隔月/1回

5.環境経営計画の実施結果と評価

(1) 二酸化炭素排出量の削減

(A) ガソリン・軽油の使用量の削減

取組内容	結果	評価
急発進、急ブレーキを避ける。	△	改善の余地あり
アイドリングストップの励行。	△	改善の余地あり
始業点検を励行し、車輦を適切に維持する。	△	改善の余地あり
法定点検等、車両点検を受ける。	○	ほぼ出来た
最短距離で、渋滞を回避する運行計画を立てる。	○	ほぼ出来た
経済速度を守る。	△	改善の余地あり
トランクの荷物を減らす。	○	ほぼ出来た
タイヤの空気圧を適正にする。	○	ほぼ出来た
車輦切替時にハイブリッド車の導入を検討する。	◎	徹底できた
エコドライブ十ヶ条の実践	△	改善の余地あり
オリックス自動車㈱のテレマティクスサービスによる車両管理、指導をする。	△	改善の余地あり
燃費効率の向上に取り組む。	△	改善の余地あり

取組内容	結果	評価
長時間使用しない設備は電源を切る。	◎	徹底できた
省エネタイプの電化製品を使う(電源のON・OFFを励行する)	○	ほぼ出来た
始業前・休憩時間・昼休み／就業終了後は消灯する。	○	ほぼ出来た
休憩室・トイレは使用していないときは消灯する。	○	ほぼ出来た
トイレと台所の換気扇は使用後必ず止める。	○	ほぼ出来た

(2) 排水量の削減

取組内容	結果	評価
節水の意識の徹底。	◎	徹底できた
手洗い時に水を出し放しにしない。	△	改善の余地あり
洗車時には必要以上に水を出さない。	○	ほぼ出来た
水漏れを発見したら上司に報告する。	◎	徹底できた

(3) 廃棄物の削減

取組内容	結果	評価
使用済み用紙の裏面使用。	○	ほぼ出来た
両面コピーや集約コピーにより用紙の節約をする。	○	ほぼ出来た
書類の作成、保存は可能な限り電子化し、用紙の使用を減らす。	○	ほぼ出来た

(4) 環境配慮設備・材料

取組内容	結果	評価
設備にとどまらず、環境にやさしい副資材(材料)の提案を行う。	△	改善の余地あり

(5) 環境教育

取組内容	結果	評価
社員には、社内会議等でエコアクション21の啓蒙を図る。	△	改善の余地あり
採用時には環境活動資料を配布する。	△	改善の余地あり

※環境配慮設備の販売は2009年度の環境方針より実施

▼環境管理委員がすること

- エアコンの温度設定、不要時の消灯状況を監視する。
- 電力、燃料使用量を記録する。
- 蛍光灯は省エネ対応のものを使用し、常時使用しない箇所の蛍光灯は、本数を減らす等の処置を講ずる。
- コピー機、パソコン等OA機器の購入に当たっては、省エネ対応機種を積極的に導入する。
- 従業員に節水の意識付け。
- 水漏れが発見されたら直ちに修理する。
- 水の使用量を記録する。
- 従業員への廃棄物の削減及びリサイクルの意識を高める。
- 発生量を記録する。

(6) その他の取り組み

- 会社周辺の清掃 隔月/1回

6.環境目標の達成状況

(1) 二酸化炭素排出量削減

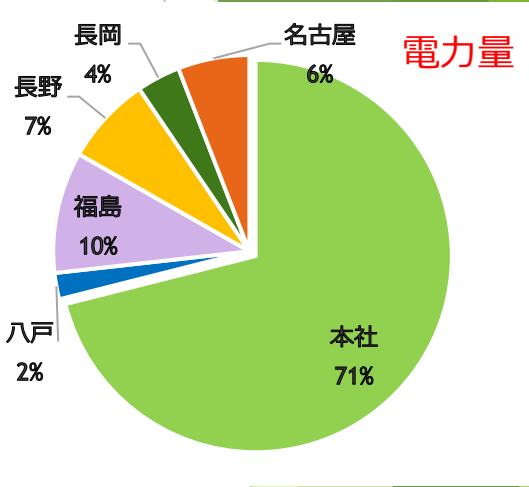
項目	単位	項目	2022年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	目標値	188,283
		実績	145,337
		達成率	22.8%減
ガソリン使用量	ℓ	目標値	40,672
		実績	31,083
		達成率	23.6%減
軽油使用量	ℓ	目標値	17,154
		実績	13,532
		達成率	21.1%減
電力量	kWh	目標値	90,567
		実績	74,502
		達成率	17.7%減

※各項目上段計画、下段実績
※目標値には令和2年1月公表排出係数を使用
実績には令和4年1月公表排出係数を使用

(株)エリス・パワー・マーケティング
東京電力パワーグリッド(株)
日本テノ(株)
東北電力(株)
中部電力ミライズ(株)

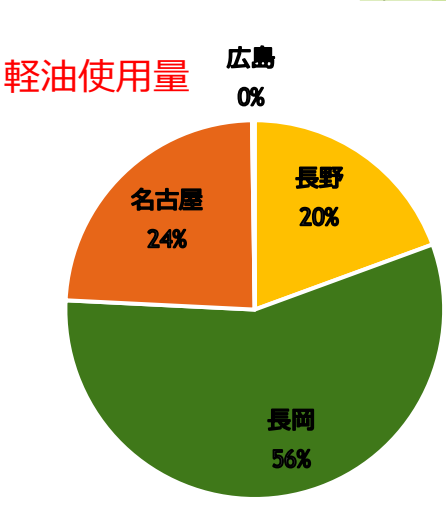
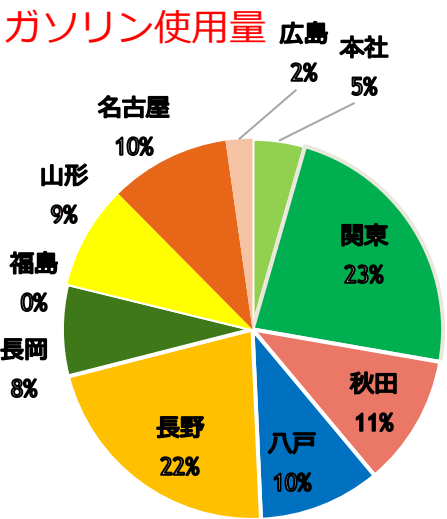
目標値/実績 (Kg-CO2/kWh)

0.572/0.624
- /0.433
- /0.485
0.528/0.457
0.452/0.377



(2) ガソリン・軽油使用量の削減

項目	単位	項目	2022年度
燃費効率 (社有車)	km/ℓ	目標値	15.00
		実績	16.44
		達成率	110%
燃費効率 (トラック)	km/ℓ	目標値	7.00
		実績	6.48
		達成率	93%



(3) 廃棄物削減

項目	単位	2022年度 1%減	2023年度 1%減	2024年度 1%減	2025年度 1%減
コピー用紙	t	0.64	0.63	0.62	0.61
総排水量	m ³	242.00	242.00	242.00	242.00

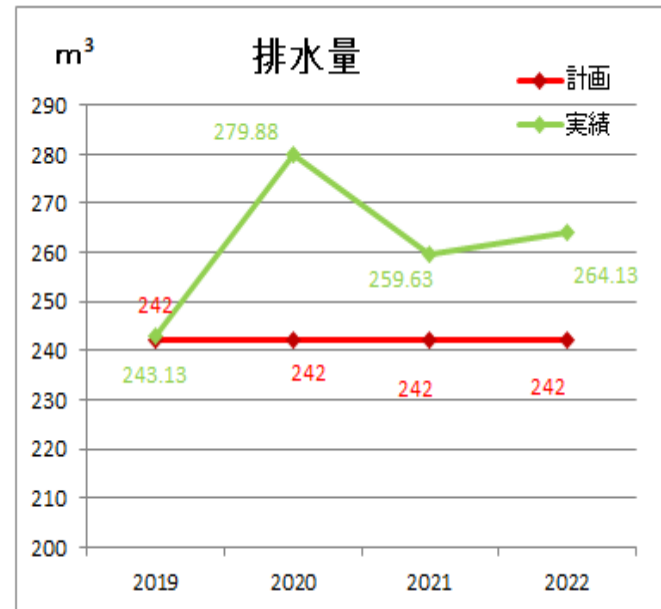
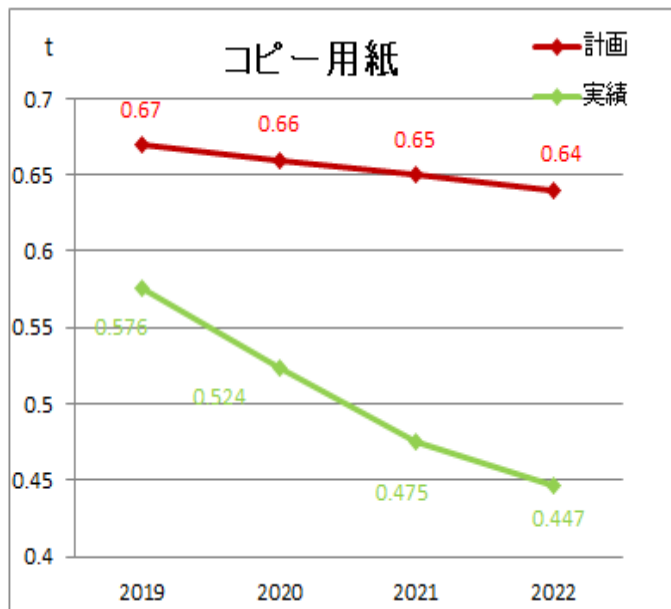
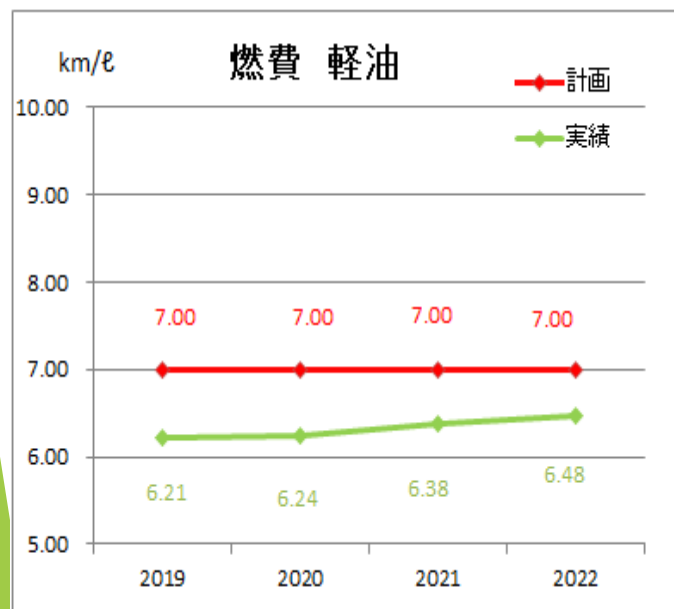
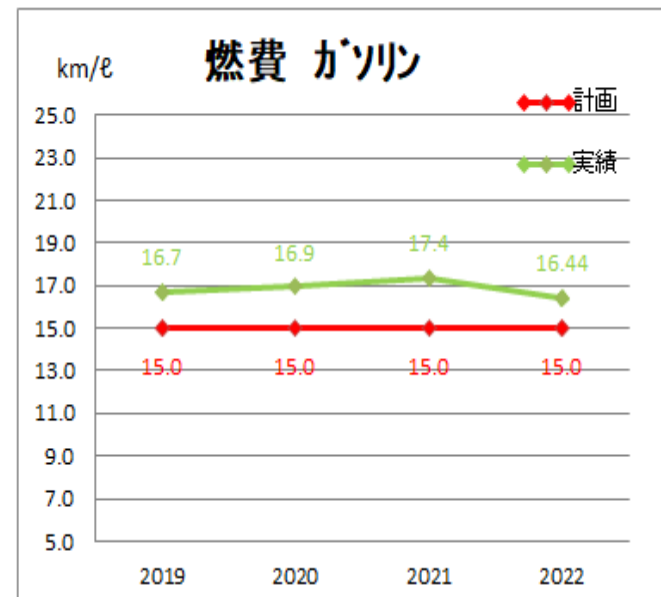
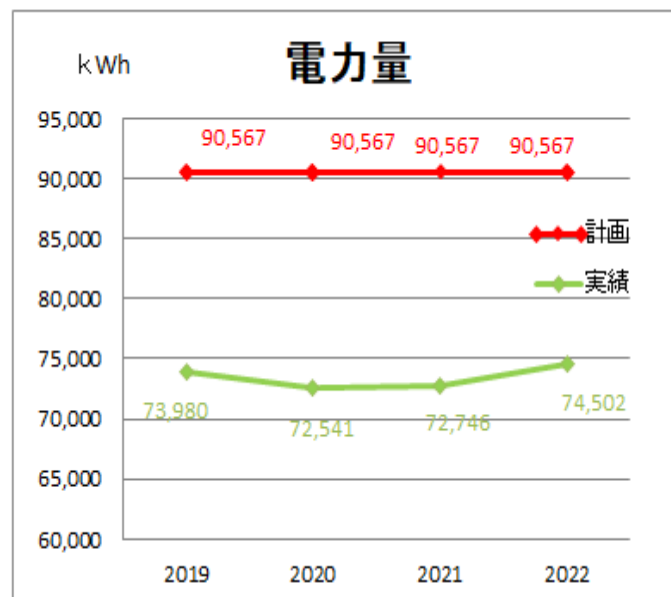
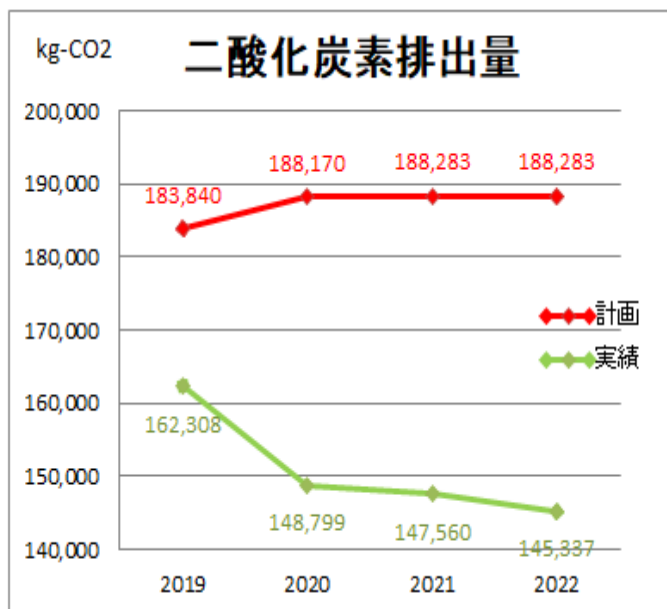
(4) 総排水量削減

項目	単位	項目	2022年度
排水量	m ³	目標値	242.00
		実績	264.13
		達成率	9.1%増

(5) 環境配慮設備・材料販売

項目	単位	項目	2022年度
環境配慮材料販売 デルタキャスト・フィルコート	t	目標値	75
		実績	27.83
		達成率	62.9%減

項目	単位	項目	2022年度
環境配慮設備販売 ハプリンター	台	目標値	5
		実績	0
		達成率	100%減



7. S D G s への取組

《二酸化炭素排出量の削減》

ガソリン・軽油・電気・水の使用量を記録し二酸化炭素排出量の削減に努めてます。会社周辺掃除にも取り組んでいます。



《環境配慮書商品の販売》

様々な問題を解決し、仕上げ工数の削減・塗型剤の使用量削減等 環境配慮した製品の販売に努めております。



特殊塗型剤『チルコート』

ザク巢、圧漏れ防止の際に発生していたコスト・回収・作業など種々問題を塗型作業のみで解決することができます。

表面安定剤 MF - 1

スクワレ不良対策に効果を発揮し、無機系バインダーを主成分とするため、注湯後に有毒なガスが出にくいのが特長です。

エムエフコートH

特殊マイカと天然黒鉛を主成分とし、焼着き・ガス欠陥・鋳肌改善に効果を発揮します。仕上げ工数、塗型剤の使用量を削減します。

デルタキャスト

低水分化により高い充填密度が得られ、耐濡れ性・高温域における熱間強度が高く、寿命が延び工数低減が出来ます。取鍋施工、プレキャストに適します。

8.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

- 二酸化炭素排出量削減は、現状維持の目標値に対し、22.8%減となり目標を達成しました。
- ガソリン・軽油使用量は、現状維持の目標値に対し、ガソリンは23.5%減、軽油は21%減となりました。
今回もまだコロナの影響が残りガソリン使用量が目標値より減少となりましたが、9月より1台増車した為去年よりは増加となりました。
- ガソリンの燃費については目標を達成しましたが、軽油については目標値7Km/ℓに対し6.48Km/ℓとなり目標未達成となりました。トラックの走行距離が増え、燃費が悪くなった為です。
- 電気量については、17.7%減となり目標を達成できました。福島支店にて事務員が常勤するようになり昨年よりは増加しました。
- コピー用紙の削減は、目標に対し30%減となり目標を達成できました。今年度も見積書等の提出を持参からメールでの提出に代えたり、引き続き裏紙の使用に取り組んだため達成できました。
- 排水量削減は、現状維持の目標値に対し、9.1%増加となりました。天井防水・外壁改修により本社の使用量が増加した為と、八戸支店にて新入社員が入り打ち合わせ等事務所での勤務が増えた為です。
- 不燃ごみは、185.5%、可燃ごみは 153.1%、廃プラも208.5%増加しました。
保存期間終了後の帳票類のシュレッター破棄や、2019年台風浸水被害でのまだ残っているゴミを長野支店にて廃棄した為です。
- 地域社会への貢献は、会社周辺の清掃実施に関して、全社で64回実施しました。
- エコ関係材料販売は62.9%減少となりました。
- エコ関係設備販売については、今期も注文がなく達成できませんでした。

9.次年度の環境経営目標及び環境経営計画

2023年度 環境経営目標

(1) 二酸化炭素排出量の削減 ガソリン等燃料使用量は、現状維持を目標とする。

項目	単位	2023年度		2024年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	180,767		180,767	
ガソリン・軽油	ℓ	ガソリン	40,672	ガソリン	40,672
		軽油	17,154	軽油	17,154
		57,826		57,826	
電力量	kwh	90,567		90,567	

※ 2023年度より 電力会社変更の為、排出量の目標値を修正しました。

(2) ガソリン・軽油の燃費

項目	単位	2023年度	2024年度
燃費（社有車）	km/ℓ	15	15
燃費（トラック）	km/ℓ	7	7

(3) 廃棄物及び総排水量削減

コピー用紙使用量において、2017年度を基準値とし2023年度は6%削減する。

項目	単位	2023年度 1%減	2024年度 1%減
コピー用紙	Ton	0.63	0.62
総排水量	m ³	242.00	242.00

(4) 環境配慮設備・材料販売

・環境配慮材料販売

項目	単位	2022年度	2023年度
デルタキャスト チルコート	t	75	75

・環境配慮設備

項目	単位	2022年度	2023年度
パンダー	台	5	5

2023年度 環境経営計画

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (A) ガソリン・軽油の使用量の削減
 - (B) 電気使用量の削減
- (2) 排水量の削減
- (3) 廃棄物の削減
- (4) 環境配慮設備・材料販売
- (5) 環境教育
- (6) 会社周辺の清掃 隔月／1回

10.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に係る環境関連法規等は下記の通りです。
環境関連の訴訟はありませんでした。

区分	法規等名称	実施状況
廃棄物	廃棄物処理法	適正に実施
化学物質	毒物および劇物取締法	一般販売業者取得済
省エネ	省エネルギー法	実施中
資源循環	家電リサイクル法	実施中
化学物質	フロン排出抑制法	実施中

2023年9月20日

新型コロナウイルス5類への移行を受け警戒ムードも一旦の落ち着きを見せて来ましたが、コロナ禍に普及したWeb会議等の引き続きの活用により、営業活動にも変化の兆しが見えてきたように思えます。移動を伴わず打合せやミーティングを開催する事ができる為、今後の二酸化炭素の削減（ガソリン使用量削減）に大きく貢献できると考えております。

前回審査の指摘事項にありましたEA21の活動内容とSDGsへの関連付けにつきましては、環境経営レポートにおいて関連ページを追記し、環境配慮商品のアピールへとつながる様に見直しを図りました。また販売状況につきましても定期的に数値をまとめる事と致しました。

ガソリン・経油の使用量、電力量についてはいずれも目標を大幅に下回る数値となりました。冒頭で申し上げましたとおり特にガソリン使用量の削減に大きく貢献する事ができました。

引き続きエコアクション21の意義を全社員一丸となって目標達成に向けて尽力する所存です。